

当院で脳出血の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】18 歳以上で、2011 年 1 月～2024 年 12 月の間に、脳出血で入院治療を受けた方

【研究課題名】脳出血共同研究ネットワーク：脳出血の原因と予後に関する神経画像国際共同研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 脳血管内科 医長 三輪佳織

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、脳出血の発症や再発、ならびにその後の経過や予後と、脳小血管病との関連を明らかにすることを目的としています。脳小血管病とは、脳の中の非常に細い血管が傷つくことで生じる変化の総称です。脳小血管病は脳出血の発症や再発、重症度、さらには回復の程度とも関係している可能性が指摘されています。この研究の成果は、将来的に脳出血の再発予測や予後評価の精度向上につながり、患者さん一人ひとりの状態に応じたより適切な治療方針や再発予防戦略の確立に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診療情報：診断名、年齢、性別、人種・民族、発症日、既往歴、併存疾患、飲酒歴、喫煙歴、身体所見、神経学的所見、血液検査結果（腎機能、炎症反応、脂質代謝）、CT 画像所見、MRI 画像所見、治療内容と治療反応性、臨床経過、治療後の予後および神経学的所見（退院時、発症 90 日後、発症 1 年後、発症 1 年後以降）、脳卒中とその他の循環器病の再発の有無および再発日、死亡の有無および死亡日、死因、最終診療日

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

Medical University of Graz（オーストリア）Assistant Professor Simon Fandler-Höfler

共同研究機関・研究責任者

1. 国立循環器病研究センター 脳血管内科 医長 三輪佳織
2. 鹿児島医療センター 脳・血管内科 医師 佐藤健朗
3. 関西医科大学 脳神経内科 教授 薬師寺祐介
4. 日本医科大学 脳神経内科 准教授 坂本悠記
5. 東京慈恵会医科大学 脳神経内科 助教 奥村元博
6. Akershus University Hospital（ノルウェー）教授 Espen Saxhaug Kristoffersen
7. National Taiwan University Hospital（台湾）教授 Shin-Joe Yeh
8. The Second Affiliated Hospital of Anhui Medical University（中国）教授 Qi Li
9. Charite Universitätsmedizin Berlin（ドイツ）教授 Christian Nolte
10. National University Hospital（シンガポール）教授 Mervyn Lim
11. Heidelberg University Hospital（ドイツ）教授 Jan Purrrucker
12. Uniklinik RWTH Aachen（ドイツ）教授 João Pinho
13. Monash Health（オーストラリア）教授 John Ly
14. University Hospital Erlangen（ドイツ）教授 Jochen Sembill
15. Hospital de la Santa Creu i Sant Pau（スペイン）教授 Luis Prats
16. University of Nottingham（イギリス）教授 Rob Dineen
17. Radboud University Medical Center（オランダ）教授 Karin Klijn
18. University of Minho; ULS/Hospital de Braga, Portugal（ポルトガル）教授 Tiago Gil Oliveira
19. Seoul National University Bundang Hospital（韓国）教授 Hee-Joon Bae
20. The University of Hong Kong（中国）教授 Kay Cheong Teo
21. Klinik für Neurologie, Universitätsklinikum Magdeburg, Otto-von-Guericke Universität Magdeburg（ドイツ）教授 Stefanie Schreiber
22. University of Parma（イタリア）教授 Alessandro Pezzini
23. University of Basel（スイス）教授 Nils Peters

24. University of Lille（フランス）教授 Charlotte Cordonnier
25. Mayo Clinic（アメリカ、ミネソタ州）教授 Jennifer Fugate
26. Department of Neurology, West China Hospital, Sichuan University（中国）
教授 Mangmang Xu
27. Massachusetts General Hospital（アメリカ、マサチューセッツ州）教授
Steven M. Greenberg
28. Faculty of Medicine, Naresuan University（タイ）教授 Duangnapa
Roongpiboonsopit
29. Inselspital Bern（スイス）教授 David Seiffge
30. Thomas Jefferson University Hospital（イギリス）教授 Pascal Jabbour
31. UCL Queen Square Institute of Neurology（イギリス）教授 David Werring

【外部機関への情報等の提供】

研究で収集した情報を、解析のために外国の研究機関に提供します。提供する際は、あなたのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

共同研究機関：Medical University of Graz（オーストリア） / UCL Queen Square
Institute of Neurology（イギリス）

研究責任者：Simon Fandler-Höfler/ David Werring

提供する項目：【利用する診療情報】に記載した情報

提供方法：パスワードのついた仮名化された情報ファイルを用いた電子的配信を行います。
情報ファイルは Medical University of Graz に保管されます。UCL Queen Square
Institute of Neurology の研究者も研究に必要な範囲で情報を閲覧します。

【研究期間】研究許可日より 2030 年 12 月 31 日まで（予定）

情報の利用または提供を開始する予定日：2026 年 9 月 29 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 脳血管内科 医長 三輪佳織/医師 新垣慶人

電話：06-6170-1070